

2 各教科の結果と考察(区との比較)

《国語》

問題	1-(1)	1-(2)	1-(3)	1-(4)	1-(5)
本校	92.1%	77.2%	78.7%	76.4%	95.3%
区	94.4%	79.9%	78.4%	69.8%	96.1%

問題	2-(1)	2-(2)	2-(3)
本校	90.6%	20.5%	40.2%
区	88.7%	20.6%	43.1%

問題	3-(1)	3-(2)	3-(3)
本校	48.0%	82.7%	37.0%
区	62.4%	85.8%	51.0%

問題	4-(1)	4-(2)	4-(3)
本校	76.4%	84.3%	77.2%
区	74.7%	87.1%	74.9%

問題	5-(1)	5-(2)	5-(3)	5-(4)
本校	59.1%	69.3%	78.7%	84.3%
区	62.1%	72.5%	80.2%	83.9%

問題	6-(1)①	6-(1)②	6-(2)	6-(3)
本校	59.8%	54.3%	52.0%	41.7%
区	70.1%	59.7%	59.5%	43.0%

問題	7-(1)	7-(2)	7-(3)
本校	70.9%	33.9%	92.1%
区	64.3%	39.1%	94.1%

《社会》

問題	1-(1)	1-(2)	1-(3)	1-(4)
本校	78.7%	63.0%	52.8%	66.9%
区	72.2%	64.5%	43.7%	66.9%

問題	2-(1)	2-(2)	2-(3)①	2-(3)②
本校	52.0%	48.0%	78.0%	89.8%
区	53.4%	50.6%	73.7%	92.1%

問題	3-(1)	3-(2)	3-(3)	3-(4)
本校	26.0%	25.2%	67.7%	48.8%
区	40.8%	27.9%	36.2%	55.3%

問題	4-(1)	4-(2)	4-(3)	4-(4)
本校	54.3%	51.2%	70.9%	58.3%
区	56.7%	41.2%	55.3%	52.1%

問題	5-(1)	5-(2)	5-(3)
本校	52.0%	52.0%	69.3%
区	55.2%	53.5%	61.5%

問題	6-(1)	6-(2)	6-(3)	6-(4)
本校	52.0%	29.9%	56.7%	94.5%
区	65.6%	36.3%	58.7%	93.5%

問題	7-(1)	7-(2)	7-(3)
本校	60.6%	57.5%	63.0%
区	62.7%	59.3%	67.9%

問題	8-(1)	8-(2)	8-(3)
本校	44.9%	56.7%	45.7%
区	47.9%	61.6%	50.9%

【成果と課題】

☆成果

「思考・判断・表現」および「技能」の問題については、区の平均を上回る結果となった。

話す・聞くという技能的な力を試される問題や、自分の思いを文章で表現する問題などについては、前向きに取り組んでみようとする姿勢が育っているようである。

◇課題

「知識・理解」に関する問題については、区の平均に届かなかった。まさに、知識を習得していなければ対応できない、漢字・語句のような問題については、正答率が低い、または無回答の割合が高いようである。

【今後の方針】

「話す・聞く力」や「書く力」など、コミュニケーション力や自己表現力を要する課題に前向きに取り組んでいる姿勢をさらに伸ばし、工夫して効果的な表現ができる力へと高めさせたい。併せて、知識を積み重ねるべき学習についても、地道に取り組める習慣をつけさせたい。

【成果と課題】

☆成果

どの設問も(3)の正答率が高く、「思考・判断・表現」を問う問題への正答率が高かった。

◇課題

①小学校の既習事項や教科書の基礎・基本の問題への正答率が低い。特に3-(1)の問題への正答率が極めて低い。この問題は、ヨーロッパの地図から国名を答える問題であるが、国名と国の位置が一致していないことがわかる。

②複数の資料から必要な情報を抜きだし、関連付ける問題への正答率が低い。

【今後の方針】

①について：関連のある単元を学習する際に、小学校で学習した内容を振り返る場面を設定する。

国名や国の位置については確認テストを行い、定着を図る

②について：複数の資料から必要な情報を読み取る力、その情報を関連付ける力に分け、授業の中で第1段階として必要な情報を抜き出す作業を丁寧に行っていく。第2段階では、各資料を結びつける方法やそこに至る思考のプロセスをプリント内で表現できる工夫を行っていく。

☆全体を通して

知識の定着や思考の深化は、「見方・考え方」を積極的に使うことで達成される、そこで、学び合いを中心に生徒一人ひとりが授業で習った情報を活用しながら表現していく活動を増やす授業づくりを行う。

《数学》

問題	1-(1)①	1-(1)②	1-(2)
本校	71.70%	69.30%	48.00%
区	79.6%	78.3%	50.1%

問題	2-(1)	2-(2)	2-(3)	2-(4)
本校	73.20%	55.90%	39.40%	51.20%
区	80.1%	60.9%	44.5%	53.2%

問題	3-(1)①	3-(1)②	3-(2)	3-(3)	3-(4)
本校	70.90%	54.30%	53.50%	73.20%	41.70%
区	79.1%	56.5%	60.7%	76.7%	44.3%

問題	4-(1)	4-(2)	4-(3)
本校	74.80%	23.60%	83.50%
区	79.4%	21.4%	88.9%

問題	5-(1)	5-(2)
本校	24.40%	29.90%
区	21.6%	32.7%

問題	6-(1)	6-(2)	6-(3)
本校	54.30%	50.40%	85.00%
区	56.9%	55.8%	89.6%

問題	7-(1)	7-(2)	7-(3)
本校	72.40%	23.60%	42.50%
区	81.9%	20.9%	40.1%

問題	8-(1)	8-(2)	8-(3)
本校	33.90%	22.00%	8.70%
区	32.2%	20.1%	11.4%

問題	9-(1)	9-(2)	9-(3)
本校	32.30%	55.90%	30.70%
区	38.5%	63.6%	45.0%

《理科》

問題	1-(1)	1-(2)	1-(3)
本校	46.50%	51.20%	51.20%
区	43.7%	49.9%	54.2%

問題	2-(1)	2-(2)	2-(3)
本校	56.70%	37.80%	81.90%
区	59.0%	38.6%	88.5%

問題	3-(1)	3-(2)	3-(3)
本校	82.70%	51.20%	52.80%
区	87.3%	45.2%	72.7%

問題	4-(1)	4-(2)	4-(3)
本校	78.00%	23.60%	49.60%
区	77.6%	25.8%	50.3%

問題	5-(1)	5-(2)
本校	61.40%	22.00%
区	62.3%	27.8%

問題	6-(1)	6-(2)	6-(3)
本校	30.70%	82.70%	94.50%
区	43.9%	74.8%	92.5%

問題	7-(1)	7-(2)	7-(3)
本校	59.80%	42.50%	47.20%
区	65.4%	48.6%	52.5%

問題	8-(1)	8-(2)	8-(3)
本校	58.30%	48.80%	31.50%
区	56.8%	41.6%	34.7%

問題	9-(1)	9-(2)	9-(3)
本校	64.60%	25.20%	44.10%
区	67.4%	15.9%	49.8%

【成果と課題】

各問題を「①数学への関心・意欲・態度」「②数学的な見方や考え方」「③数学的な技能」「④数量や図形などについての知識・理解」「⑤必要な情報を正確に取り出す力」「⑥比較・関連付けて読み取る力」「⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の7観点に分類する。

☆成果

②⑤⑥の観点の正答率が区平均より大きな差が開かなかった。

◇課題

①③④⑦の観点はほぼすべての問題で本校の結果の方が低く、特に基礎・基本の問題への正答率が低い。

4-(3)、6-(3)から、問題文を正確に読み取ることが不十分である。(正答していない中で無回答が多く占めている。)

【今後の方針】

・授業では、基礎・基本の問題を疎かにせず丁寧に取り組ませることで定着を図る。

・4人組での学び合い活動の方法と質の向上を図る。

苦手分野①③④⑦の観点の克服として

・数学用語や計算の仕方を何度も振り返らせる学び直し、4人組での学び合い活動を通じて、意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する態度を身に付けさせる。

・授業だけでなく、定着が不十分な生徒に対して、二学期から毎週月曜日に東京ベーシックドリルを取り組ませ基礎の定着を図っている。この取り組みを今後、継続していく。

【成果と課題】

□成果□

8(2)、9(2)の「読み取る力」問題の正答率が区の平均よりも大幅に高い。さらに都の平均と比べてみても、約7%も上回る結果となった。

□課題□

3(3)、5(2)、6(2)、7(2)、(3)の「思考・判断・表現」の力を問う問題において、ほとんどの問題が区の平均を下回った。事象の理解が出来ているものの、その理由や原理が説明できない傾向が見える。

【今後の方針】

・科学的な思考力を育むために、答えの見えないブラックボックスのような課題に取り組ませていく。

・正しく判断できる力を育むために、実験における条件をいくつか提示し、班で話し合っって実験方法を考えたり工夫できるようにゆとりをつくる。

・実験観察をメインとした授業展開は継続していき、その事象や観察結果を自らのことばで表現できるように、話し合い活動を有効活用していく。

・自らの考えの表現方法の一つとして、グラフや表の有用性を理解させる。

・基礎力強化のため、定期的に確認テストを行い、振り返りをしていく。

《英語》

問題	1-(1)	1-(2)	1-(3)
本校	51.20%	21.30%	55.90%
区	56.8%	31.0%	60.9%

問題	2-(1)	2-(2)	2-(3)
本校	62.20%	12.60%	81.90%
区	72.0%	17.0%	86.4%

問題	3	4		問題	5-(1)	5-(2)
本校	85.80%	31.50%		本校	21.30%	52.00%
区	93.7%	25.9%		区	24.7%	51.1%

問題	6-(1)	6-(2)		問題	7-(1)	7-(2)
本校	62.20%	30.70%		本校	82.70%	77.20%
区	70.7%	21.8%		区	85.6%	79.0%

問題	8-(1)	8-(2)	8-(3)	8-(4)
本校	37.80%	72.40%	45.70%	27.60%
区	29.9%	70.7%	56.3%	38.4%

問題	9	10		問題	11-(1)	11-(2)	11-(3)
本校	25.20%	70.90%		本校	72.40%	56.70%	60.60%
区	25.7%	68.0%		区	73.2%	49.8%	54.2%

問題	12-(1)	12-(2)	12-(3)
本校	55.10%	41.70%	44.10%
区	53.5%	42.7%	41.1%

【成果と課題】

□成果

「B 読み解く力に関する内容」において、各項目で都、区の平均を上回ることができた。日頃から資料の読み取りや英文読解を行っているおかげで、読み解く力が育ってきたと考える。

□課題

基礎・基本的な英語表現を知識として定着できていないことが各項目から読み取ることができる。特に 1-(1)(2)の正答率が極めて低くなっている。会話表現や基本的文法を確実に理解し、しっかりと英文として書く力が今後さらに必要となる。

【今後の方針】

- ・帯活動として行っているディクテーションを今後も継続し、重要単語や文法を確実に書けるようにしていく。
- ・会話表現、疑問詞を含む疑問文への応答など会話実践を含めた演習活動を多くする。ペアリーディングで定型表現の定着を図る。
- ・ALT を活用した自己表現活動を定期的に行っている。正しい表現を意識した表現活動を推進していく。